



川西町・三宅町式下中学校組合立
式下中学校

「学校通信」 Believe (ビリーブ)
—令和2年度第12号—

令和2年9月28日発行 文責 中本克広

3年生修学旅行特集

この学年のみなさんは、さまざまな制限ある中で、中学校時代を過ごす先駆けとして、誰も経験したことのない中学校生活を、一生懸命な行動で、後輩たちを引っ張ってくれています。9月17日～18日の2日間の修学旅行での活動にも、しっかりと取り組んでくれました。この学年のメンバーの健康と安全、御家族の支えがあって、修学旅行を終えることができたことに感謝したいと思います。

今号では、『静と動』をテーマに、2日間を振り返っていきます。

1日目 ネスタリゾート神戸にて

なかまとともにアクティビティを楽しみ、自然の中でゆったりとすごしました。



行きのバス内で



ワイルド・バギーエリアにて



園内は2階建て巡回バスで移動します。



つかみどりしたニジマスの塩
焼き、「いただきます！」



園内の動物たちともふれあいました。



みんなでほっと一息休憩タイム



昼食休憩場所へ みんなそろって。



昼食場所は広々。内容も充実してました。



こんなこともできました



飛翔準備完了です。



これがスカイ・イーグルです。



快走する二人



トランポリンの二人



空中遊泳する二人



綱渡りの二人



カヌーもできます。



そり滑りの二人



園内は石畳にも工夫がありました。
気づいた人には幸運が……………。



ボルダリングにもチャレンジ



ネスタリゾート神戸→奈良へ 写真を撮る時だけマスクを外して。



ホテル日航奈良夕食会場にて



お部屋のメンバーがそろって



朝食の時も元気な様子を見せてくれました。

2日目 ならまち散策・伝統工芸体験

テーマ：故郷奈良を観光客目線で見つめ直す。
立場を置き換えて考えることができるのが、人間的成長というもの
です。どうか、それぞれの場面で、立場を置き換えて考えることので
きる人でいてください。

班活動では、限られた時間の中でゴールにたどりつく達成感を味わ
ってくれました。エルトピアの門付近で待っていた時、班メンバー
がそろって歩いて戻ってくる姿を見て、とてもうれしかったです。グル
ープで動くのは、次は高校体験入学や入試の時でしょうか。観光地
を散策するというのは、中学時代最後となりました。エルトピア奈良
での伝統工芸体験に取り組んでいる姿も好印象でした。



オンリーワンにぎり墨の完成です。



昨年度までお世話にな
った松本先生が激励に
来てくださいました。

鬼瓦づくり できあがりを楽しみます。工房で
焼いていただいて、年内には届きます。



奈良筆づくりに取り組んでいます。



マイ奈良筆のできあがりっ！



プロの方による墨づくりの実演
を見学



奈良格子の家前にて



奈良町からくりおもちゃ館前にて



ならまち散策の途中



奈良公園の鹿ともふれあいました。

学年の先生方の撮影された写真を見せていただきました。制限制約のある中でも、みなさんの活動中の笑顔には感動しました。引き続き、令和2年度後半のみなさんのがんばりを応援しています。

最後に、出発式の時に言った言葉を記しておきます。「実るほどこうべを垂れる稲穂かな」こうべとは、あたまのことですが、人は、人間的に成長すればするほど、相手に礼儀を尽くしたり、自然と心のこもった挨拶ができるようになるという意味です。稲刈りの時季を迎える今、この言葉を思い出して、お互いに、「礼儀・挨拶・思いやり」の心を忘れず、行動していきましょう。



保護者の皆様へ

2日間たいへん御心配をおかけしましたが、お陰様で、収穫も多い修学旅行となりました。それというのも、今回の計画への3年生保護者の皆様の御理解があつてこそと感謝申し上げます。3年生は一つの節目の行事を終えて、次の段階へと進んでいきます。「備えあれば憂いなし」、秋から冬に向けて、予防と活動を両立しながら、全校で前を向いて日々の授業や行事に取り組んでいきたいと考えています。引き続き、保護者の皆様の御理解と御家庭での御協力を何卒よろしくお願いいたします。